

# バーチャルリアリティーで プランを体感

## 1/1のビジュアルでイメージを共有

北洲 [宮城県富谷町]

北洲（宮城県富谷町、村上ひろみ社長）は、プラン打ち合わせの満足度向上のため、実際の建物の大きさを体感できるバーチャルリアリティー（VR、仮想現実）システムを導入した。施主からはCG（コンピュータ・グラフィックス）パースなどではわかりにくい実際の大きさを把握できるという感想を得るなど満足度の向上に結びついているという。



3次元化するためのメガネ。複数で見ることが可能



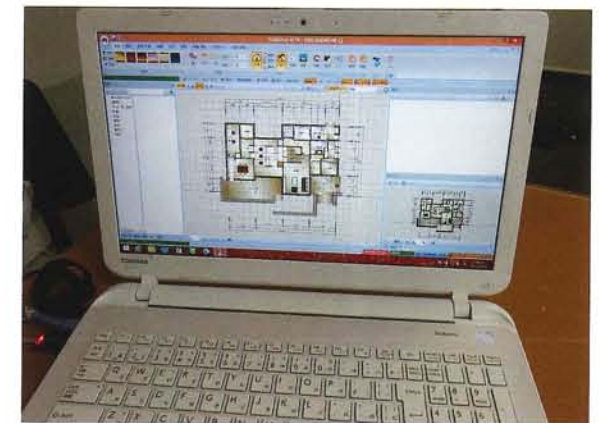
4台のプロジェクターを使い4面に投影する



実際に使用している様子。画像はメガネを通すと3次元イメージとして認識される



北洲本社内のVRスタジオ内部の様子。白い壁がそのままスクリーンになる



コンピュータシステム研究所の住宅プレゼンテーションソフト「ALTA」の画面。このデータをもとに映像データを合成する

北洲はこの春、コンピュータシステム研究所のバーチャル住宅展示場作成システム「ALTA for VR」を導入し、社内での試験運用を経てこの6月から本格稼働を開始した。建物のイメージを実物大の3次元映像で見ることが出来るシステムだ。北洲では、このシステムを「展示場」としてではなく、建てる前に自宅を体感する仕組みとして使っている。

同社は複数の展示場を持っており、顧客にいつでもモデルハウスを見ることが出来るため、新しく導入したシステムにはまったく違う効果を期待している。「このシステムは、実際に自分の希望する間取りを体感してもらうことができるため、リアルなイメージをつかんでもらうことが狙い」（同社の営業部の水尻修平さん）という。

「お客様の理解度向上もそうだが、住宅の購入段階をより楽しんでいただくことが、システムを導入した主な目的」

建築的な知識や感覚がない一般の施主にとって、自分たちが建てようとしている住宅が実際にどのくらいの広さか、図面から想像することは難しい。実際の大きさにした際の色のボリューム感など、どのような印象になるのかもイメージしにくい。そうした施主のイメージ構築のサポートをするのもこのシステムの役割だ。

### 立体的に特徴のあるプランを再現

北洲では、本社にある展示スペースの一角に専用のスタジオを開設。広さは約23㎡。4つのプロジェクターを使い、壁2面と天井、床の計4面にコンピュー

タで合成した映像を投射する。それを専用のメガネを通して見ると立体イメージが浮かび上がる仕組みだ。位置センサーとも連動しており、身長や見る姿勢に合わせて見え方も変わる。コントローラーを使って視点を左右前後に動かすことができ、3次元のイメージの内部を動き回るようにして体感できるのが特徴だ。

映像の元になるデータにはコンピュータシステム研究所の住宅プレゼンシステム「ALTA（アルタ）」のデータをそのまま使うことができる。データをシステムに転送するだけで、特に追加的な作業は発生しない。見ながらその場でALTA上のデータに変更を加えると、ほぼリアルタイムでイメージに反映できる。

細かなテクスチャーの確認ではなく、天井の高さや建具の大きさ、色のポリ

ーム感といった専門家でないとうまく捉えられない空間的なバランスを体感するのに効果があるという。

同社では、断熱性能の高い仕様の住宅を提供しており、建物内での温度差がほとんどないことを生かして、リビングなどに吹き抜けを設けるのが特徴のひとつになっている。このシステムを使うと、吹き抜けを見上げた感覚を疑似体験でき、平面モニターのグラフィックスなどでは表せない開放感を体験してもらうことができる。

アプローチや駐車場、建物本体など、敷地に対する建造物の位置関係は図面やモニターによる確認だけでは立体的にとらえにくいのが、このシステムを使うことで体感的に把握しやすくなる。

### プラン提示が感動に

「プランを3次元映像で体感していたことで自分の家のイメージがわき、お客様の気分も盛り上がる」という。1回あたり30分から1時間程度を目安に使ってもらっているという。

また、プランのつくりこみの際の確認にも使うことで、内・外装の色のバランスなども確認してもらうことができ、安心につながる。

「導入してまだ日が浅いが、家族の間でもイメージの共有がしやすくなるようで、お客様が感動して喜んでくれるのが一番の収穫」と手応えを感じている。

北洲  
宮城県富谷町

木製サッシ標準採用など断熱性能高い住宅に取り組んでいる。震災後の自立型の暮らしへのニーズの高まりを受け、太陽光発電を中心とした省エネ・創エネ提案を強化し、蓄電池もメニューに加えるなど、常に新しい技術を積極的に採用している。ドイツ発の断熱工法など建材販売も行っている。売上高は2014年8月期で178億6800万円（経常利益8億500万円）。社員387人（2014年12月1日現在）